

令和2年度一般会計補正予算（第7号）の概要  
《新型コロナウイルス感染症対策関連・12月定例会分》

令和2年11月20日 尾張旭市総務部行政経営課

編 成 方 針

◎新型コロナウイルス感染症によって生じている諸課題に対し、措置を必要とする経費について補正予算を編成するもの。

予 算 規 模

◎一般会計分（事業費） 2, 293万円 （外に公共事業等の前倒し発注分5億756万円）

概 要

- 1 学校感染症対策事業費交付金（予算の増額）〔教育行政課〕 2, 250万円（国 1/2）
  - ・学校の感染症対策等を徹底しながら、子どもたちの学習を保障するため、校長の判断で様々な試みを迅速かつ柔軟に行うことができるよう交付金を交付する。（大規模校200万円⇒400万円、中規模校150万円⇒300万円）
- 2 市民税申告支援システムの導入〔税務課〕 43万円
  - ・市民税申告書を自宅のパソコン等で作成することができる支援システムを導入する。
- 3 公共事業等の前倒し発注（17事業） （5億756万円）
  - ・公共事業等が減少する年度末や年度始めにおける市内事業者等の雇用安定や資金繰り支援を目的に、令和3年度に実施を計画していた事業の一部について前倒して予算計上を行う。